

DX推進



これまで構造化してきた
膨大なデータを見える化し、
業務改善などに役立ってます

社内で構造化してきた販売や生産、購買などの膨大なデータを見える化して、印刷の業務プロセス改善だけでなく製品やサービスの向上に活用していきます。

今後の方向性



当社では年間数万点に及ぶ製品を生産しており、製品ごとに業務プロセスや工数、資材、減価償却などが異なります。この膨大なデータに販売や生産、購買などの管理システムを連携、クリエイティブから印刷、製本、表面加工といった複雑な印刷工程までの業務改善や製品・サービスの品質向上に役立ててきました。

また、ネットワーク社会やICTの進展に対応し、デジタルコンテンツのデータベースシステムやCMS (Contents Management System) などの制作管理システム、IPSやBPOを円滑に進めるための顧客管理システム、在庫管理システムなどを独自開発。社内での運用にとどまらず、お客さまにも利活用していただけるようシステム開発力を強化しています。

近年、売上データやマーケティングデータ、WEB解析データなどを分析して経営や販売、生産などに生かすDXが叫ばれています。当社でも、2023年にDX推進室を設置し、社内はもちろんお客さまの業務改善や業績拡大に貢献できるよう、これまで構造化してきた膨大な業務データの見える化を加速させています。

経営企画室 DX推進室 室長 **川瀬 直樹**

事業環境の認識



Politics
(政治)

- コロナ禍のリモートワークがDXを加速、アフターコロナでもこの傾向は継続
- 高度化かつ巧妙化しているサーバーテロの存在



Economy
(経済)

- 経営やマーケティング、生産管理などでDXの取り組みが進展
- データドリブな経営やマーケティング、生産管理の定着



Society
(社会)

- デジタル教材や出版物の普及
- 個人情報をはじめとする機密情報のIPSの増大



Technology
(技術)

- データ・ツウ・プリントのインフラや機器の充実
- デジタルコンテンツのDBシステムやCMSなど制作管理システムの多様化
- 印刷やWEB、マーケティングのオートメーション化
- AIや生成AIサービスの登場でDXへの活用が本格化



社内DX事例

Internal DX

| | リスク・機会 | 強み・課題 |
|-----|---|--|
| リスク | <ul style="list-style-type: none"> 膨大なデータの一元管理や分析に要する人材とコストの増大 事業領域の拡大にともなう新たなデータの収集手段や分析手法の開発 | <ul style="list-style-type: none"> 社内にWEBやシステム開発に特化したSEが在籍し、社内外のさまざまなデータ形式に対応 デジタルコンテンツのDBシステムやBPOの在庫管理システムなど社内外での豊富な実績 IPSをはじめとする機密情報のデータ加工インフラノウハウの蓄積 |
| 機会 | <ul style="list-style-type: none"> データの一元管理や見える化でデータ分析やレポートなどが最適化 経営や販売、生産、購買などのデータの統合で新たな課題や解決策の発見 個人情報のデータ加工の増大と管理体制の厳格化 | <ul style="list-style-type: none"> 印刷工程だけでなくマーケティングやデジタルメディアに詳しいSEの育成 被害が甚大化しているサイバー攻撃への対策 新たなコンペティターとしてシステム開発会社への対応 |

データドリブな経営や販売、生産を進めるダッシュボードに着手

当社では、販売や生産、購買などさまざまな管理システムを運用しており、大量のデータを構造化しています。こうした情報ソースから用途に合わせて関連情報を分析するビジネスインテリジェンスツールとしてダッシュボードの開発に着手しています。集計値のほか表やグラフなどを活用した立体的なインターフェイスで、リアルタイムにわかりやすくデータを可視化できるようにします。これまで部門や部署で必要に応じて集約してきた多様なデータを一元管理できるようにすることで、迅速な経営や販売、生産などの意思決定に役立てます。また、年間数万点に及ぶ製品に加え、クリエイティブから印刷、製本、表面加工まで多岐にわたる印刷工程において、あらゆる業務プロセスで業務改善を実施するほか、製品やサービスの品質向上にも貢献していきます。



イメージ

印刷から製本、加工まで、印刷機器のDXで稼働効率を改善

当社は、商業印刷にとどまらずパッケージやIPSまで社内一貫生産しており、印刷機だけでもデジタル印刷機、オフセット枚葉機、オフセット輪転機など数十台を保有しています。これに製版機、製本機、表面加工機を加えれば数百台に及ぶ印刷関連機器を扱っており、それらの品質基準を担保したまま稼働効率を高めるため、DXで取り組みを始めています。

2023年、製品の品質や原価へのインパクトが大きい大型印刷機から取り組みを開始。印刷工程を色合わせ、印刷、胴洗浄などと細分化し、業務プロセスごとに用紙の種類、通し枚数、工数などを最適化することで、当社の品質基準を損なわずに稼働効率を高められるかを検討しています。得られた分析結果は、製品の見積もりや生産計画などにフィードバックできるようにしていきます。



DX推進

社外DX事例

External DX

| | リスク・機会 | 強み・課題 |
|-----|---|---|
| リスク | <ul style="list-style-type: none"> 印刷需要の縮小によるコンテンツ制作やシステム開発の機会喪失 システム開発の標準化とコストの増大 | <ul style="list-style-type: none"> 印刷やデジタルメディアを問わず、コンテンツ制作から管理システムまで一括受託 印刷やデジタルメディアのDBシステムやCMSの豊富な開発実績 |
| 機会 | <ul style="list-style-type: none"> 印刷データの二次利用やクロスメディアの需要拡大 ネットショッピングのほかにも、デジタル教材やデジタル出版物の普及 | <ul style="list-style-type: none"> デジタルコンテンツのDBシステムやCMSなどのパッケージ販売 商品開発からプロモーション、在庫管理、発送代行までのワンストップ対応 |

WEB社内報を簡単な操作で更新することができるCMS開発

社員へのコーポレートブランドの浸透やエンゲージメントの向上などインターナルコミュニケーションに欠かせない社内報。近年では、ペーパーとWEBの両面でインターナルコミュニケーションを進めるハイブリッド社内報が登場し、WEB社内報は自社メディアとして企業情報を発信するオウンドメディアとして活用されることも多くなってきました。

当社では、WEB社内報のCMSを独自開発し、オウンドメディアとしての高いセキュリティを備えるほか、ドラッグ&ドロップなどの簡単な操作でお客さまが内容を更新できるようにしています。また、付帯サービスとして画像データベースなど既存のデータベースシステムの統合、さらにはスペシャリストによるアクセス解析などをご提案。社内外へのコミュニケーションのDXに取り組んでいます。



WEBマーケティング未実施のお客さまへの導入支援

企業の広報、販促活動において重要視されているWEBマーケティングですが、導入されていない企業が多くあります。お客さまからは「導入したいが何からやればいいのか」との声をいただき、当社でチラシの制作を担っているお客さまを中心に「WEB広告」を活用したマーケティング支援のサービスを開始しました。

チラシでの訴求が届かないかつお客さまのニーズに合う方々をターゲットにし、そこへ適したWEB広告の配信プランをご提案します。関連したキャンペーンなどの企画運営、LPやバナー類の制作、ペーパー資材等、当社の強みを交えてお客さまのマーケティング領域でのDX推進をサポートします。

